



長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京医科大学卒業後、大阪第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で「人か診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化中。関西国際大学客員教授。

⑪ アイドル 純アリス



本人や家族が、発表したくないと思っただけで、発表しない自由があります。2人に1人ががんになるといわれるに、いまだこの国では、「がん家系」というだけで差別的な目を向ける人もいるからです。

本人や家族が、発表したくないと思っただけで、発表しない自由があります。2人に1人ががんになるといわれるに、いまだこの国では、「がん家系」というだけで差別的な目を向ける人もいるからです。

夫で俳優の三浦浩一さんは「3人の子供たち、そして周りで支えて下さった皆さんのお陰で、幸福な最期だったと思います」とツイッターで報告されました。

いいえ、がんだけではありません。認知症で亡くなる人もたくさんおられますが、この連載117回の中で、死因を認知症と発表されたのは、女優の朝丘雪路さんだけでした。在宅看取りの現場でも、「認知症は恥ずかしいから、死亡診断書には他の病名で書いてほしい」とご家族から頼まれたこともありました。

「何のがん？」と気になる人もいるかもしれません。しかし、どこのがんかは発表してはいないようです。「死因」というのは、あくまで社会的なもの。

最期までイメージを大切に